

## 産業人材育成のための職業教育の充実に向けた平成24年度実施事項

「次世代人材育成会議（H23）」の提言を受けて、平成24年度は次のことに取り組みます。

### 方策1 生徒の技能・技術等の向上

- (1) 学校や高等学校教育研究会へ企業技術者等が参画
  - ・公開授業、授業研究、教科書、実習内容へのアドバイス
- (2) 生徒の企業現場・生産現場での長期実習
  - ・工業系・農業系の2年生64名程度が夏季休業中に10日間の実習
- (3) 実技実習等のスキルアップを推進
  - ・外部講師による実践的技術指導や資格取得のための講習会
- (4) 企業や地域と連携した商品開発や販売等の企画の推進
  - ・自発性や創造性、責任感の育成
- (5) 社会人基礎力の育成
  - ・社会人として必要な基礎学力、礼儀やビジネスマナー等の修得
- (6) 技術・技能の習熟を高めるための設備整備
  - ・企業現場の設備水準に近い機械設備を導入

### 方策2 教員の実習等授業力の向上

- (1) 工業系や農業系の教員を対象に外部講師による講義や実技指導
  - ・夏季休業中の2日間、集中的に実施
- (2) 職業系の若手・中堅教員を県内企業等に派遣し実技研修
  - ・工業・農業・水産・家政・福祉科の教員10名を夏季休業中の5日間派遣

### 方策3 生徒のモチベーション向上

- (1) 職業系全国コンテスト出場および上位入賞に向けた事前指導
  - ・工業や農業のコンテストに向けて外部講師によるスキルアップ講習会
- (2) 課題研究合同発表会の開催
  - ・職業系学科必修科目「課題研究」の優良事例を発表、生徒の意欲向上と中学生・保護者・県民に職業高校の魅力を発信

# 次世代人材育成会議提言【概要】

～ 職業系高等学校の教育の質の向上を図る方策 ～

## 課題

## 基本的方向性・具体的方策

## 目指す姿

## 現状

1 職業系高等学校の現状  
 工業 6校21学科 2,143名  
 商業 6校15学科 2,284名  
 農業 3校9学科 876名  
 ・就職率、県内就職率は全国平均と比べ高い  
 ・就職率 99.5% (全国 93.2%)  
 ・県内就職率 87.7% (全国 80.4%)  
 ・就職者の割合  
 工業 58.2%、商業 34.5%  
 農業 52.3% (H22.3年)  
 ・大学等への進学率の上昇  
 H18.3 H22.3  
 工業 19.5% → 24.3%  
 商業 30.9% → 34.5%  
 農業 15.2% → 14.2%  
 2 就業構造の変化  
 ・労働力人口、労働力人口比率ともに減少、低下  
 労働力人口 445千人→423千人  
 労働力人口比率 83.3% → 61.5%  
 (減少率全国8位)  
 ・若年者の雇用情勢は、失業率や離職率が高い  
 完全失業率(H22)  
 15～24歳 5.5%、25～34歳 3.3%  
 35～44歳 2.5%、45～54歳 2.4%  
 55～64歳 3.6%、65歳～ 2.1%  
 早期離職率(H20.3年) 33.4%  
 3 企業における職業能力開業の変化  
 ・指導する人材や時間の不足により、企業の人材育成機能が低下  
 課題がある事業所(全国) 約7割  
 4 職業に必要な能力の高度化  
 ・技術革新等により、職業に必要な知識・技能が高度化

【工業系】  
 1 企業の生産現場を支える担い手として基礎的な知識・技能の定着、実践・応用力、意欲等の育成が必要  
 2 産業界の技術革新に伴う、教員・実習助手の知識・技術力の向上が必要  
 【商業系】  
 1 IT化の進展に対応したトータルな商業活動ができるビジネス感覚の醸成が必要  
 2 観光産業等の成長分野に対応したサービス産業人材の育成と国際感覚・英語力の養成が必要  
 【農業系】  
 1 農業や食を基本に地域に貢献する人材の育成が必要  
 【共通する事項】  
 1 産業界との連携強化による指導方法の改善が必要  
 2 社会人基礎力、豊かな心等の育成が必要  
 3 大学等進学率の上昇に伴い、進学指導の強化が必要

【工業系】  
 優れたものづくり技術を継承・発展させていく人材の育成  
 ①企業の製造・生産現場での長期企業実習の導入  
 ②教員・実習助手の知識・技術力向上、熟練技術者等の教員への登用  
 ・高度技術習得のための研修会、企業等への短期派遣研修  
 ・熟練技術者等を特別非常勤講師として採用し、実習を担当  
 ③産業教育施設・設備の充実  
 ・旋盤等の充実  
 ④大学進学のための指導の充実  
 ・普通教科の時間数の拡大  
 ・小論文、数学等の指導の充実、基礎学力の向上  
 【商業系】  
 ビジネス感覚や国際感覚を備えた人材の育成  
 ①ビジネス感覚の醸成  
 ・起業家や公認会計士、システムエンジニア等による授業や講習会等の実施  
 ②観光教育の推進と国際感覚・英語力の養成  
 ・国内外の観光地の魅力を取り上げる教育、ALTを活用した指導等  
 ③教員・実習助手の知識・技術力向上  
 ・高度技術習得のための研修会、企業等への短期派遣研修  
 ④産業教育施設・設備の充実  
 ・情報処理関係機器の充実  
 ⑤大学進学のための指導の充実  
 ・普通教科の時間数の拡大  
 ・小論文、英語等の指導の充実、基礎学力の向上  
 【農業系】  
 農業や食を基本に地域に貢献する人材の育成  
 ①農業や食を基本に地域に貢献する人材の育成  
 ・環境に配慮した農業生産活動から商品企画、加工、販売まで幅広く学び、生徒の意欲を引き出せるプログラムの実施  
 ・園芸を通じた地域との交流、農や食に関する情報発信  
 ②大規模農業者等の生産現場での長期実践実習の導入  
 ③教員・実習助手の知識・技術力向上、認定農業者等の教員への登用  
 ・高度技術習得のための研修会、大規模農業者等への短期派遣研修  
 ・認定農業者等を特別非常勤講師として採用し、実習を担当  
 ④産業教育施設・設備の充実  
 ・農業機械・温室・食品加工設備の充実  
 ⑤大学進学のための指導の充実  
 ・普通教科の時間数の拡大  
 ・小論文等の指導の充実、基礎学力の向上

【共通する事項】  
 1 実社会で求められる教育ニーズ等を踏まえたカリキュラム等の改善  
 ①教科書選定やカリキュラム編成、補助教材の研究開発、公開授業等について、産業界が評価・助言  
 2 実践的な職業教育およびふるさと教育の充実  
 (1) 専門科目の知識・技能のレベルアップ  
 ①全国大会や難関資格への挑戦  
 ・職業系全国コンテスト出場や難関資格取得の奨励、事前講習会(熟練技術者等)による技術指導)の拡充  
 ②「課題研究福井県大会(仮称)」の開催  
 ・課題研究の成果を学科・学校を越えて対外的に広く発表  
 ③現場でのニーズに対応できるスペシャリストの養成  
 ・農業(野菜や水稲)、工業(旋盤や電気)、商業(情報)などで、専門分野をより絞った授業や講習会の実施  
 (2) 社会人基礎力等の養成  
 ①起業家育成プログラム(企業と連携した商品開発や試験研究機関・大学等)との共同研究)の拡充  
 ②ふるさと教育の推進  
 ・地域の伝統行事・ボランティア活動等の参加促進、ふるさと講話の実施  
 ・地域貢献プログラム(地域に貢献できる作品の制作や地域行事への参加)の拡充  
 ・部活動の奨励  
 ③職業講話およびビジネスマナー講座の充実  
 (3) 年間計画の作成、コーディネーターの配置  
 ・学校側による年間計画の早期提示、学校と企業間を調整するコーディネーターの配置

生徒一人ひとりが自分の得意技を身に付け、ふるさとを井で希望を持って生き活きたるための職業教育